

連続トークイベント Vol.1

サステナビリティ × 京都の伝統産業

伝統産業を核にした持続可能な社会の実現に挑むゲストを招聘し、講演やモデレーターを交えたクロストークにより、SDGs 時代における京都の伝統産業の魅力や可能性について考え、理解を深める。



< 講演者 > 堤 卓也



< 講演者 > 永原 礫 (Leki)



< モデレーター > 下村 委津子

日時：令和3年 11月27日（土）14：00 - 15：30

会場：さすてな京都（京都市伏見区横大路八反田29番地） 参加料：無料

定員：75名（申し込み先着順）※小学生以下は要保護者同伴

参加申込：11月1日から20日まで「さすてな京都」において電話またはメールにて申込みを受け付けています（先着順）

※ メールでお申し込みの場合、講座名「サステナビリティ×京都の伝統産業」として、参加者のお名前、参加人数ご記入のうえ、送信してください。

【(申込先) さすてな京都】TEL: 075 - 606 - 2548 / moushikomi@sustaina-kyoto.jp



主催：公益財団法人京都伝統産業交流センター / 京都市（環境政策局南部クリーンセンター管理課）

講演者等プロフィール

堤 卓也 (TSUTSUMI Takuya)

(株) 堤浅吉漆店専務／(一社) パースペクティブ共同代表／京都精華大学伝統産業イノベーションセンター
特別共同研究員／国際環境 NGO Surfrider Foundation Japan アンバサダー

1978 年生まれ。 明治期から続く漆の精製業者の四代目。

北海道大学農学部在学中、ニュージーランドで WWOOF (ファームステイ) で人と自然の近い暮らしを体験。

卒業後は他業種を経て家業に従事。漆を育て収集する山側の「漆掻き職人」と、漆を塗る「塗師」の中間に立つ立場から、漆と人々の暮らしの間に広がる距離感や、漆の生産量の減少に危機感を感じ、漆のある暮らしを次世代の子どもたちにつなぐ取組みとして「うるしのいっぽ」を始める。「サーフボード × 漆」「BMX × 漆」「スケボー × 漆」など、今までになかった取り合わせを通じて、漆との新しい出会いを提案。1 万年前から日本の風土で使われてきたサステナブルな天然素材「漆」を、次の時代に継承するべきものとして、 2019 年、パースペクティブを設立。

【Florida surf film festival 2019】Best Documentary Short 2019 受賞

【Japan Craft21「日本伝統工芸再生コンテスト」】最優秀賞ロニー賞受賞

永原 礫 (NAGAHARA Leki)

inBetweenBlues, 合同会社みつぐるま 代表／国際環境 NGO Surfrider Foundation Japan ディレクター

1982 年徳島県海部郡海陽町生まれ。

城西国際大学国際交流科に在学中、全日本学生サーフィン選手権大会で学生日本一達成。卒業後は東京・米国・オーストラリアなど国内外で働きながら、サーフィンと音楽と芸術を学ぶ。27 歳で U ターンし、肌着メーカー「トータス」に入社、藍の栽培や染色、衣料品の販売、新製品の企画などに従事。2017 年冬、藍染スケートボードと共に四国 88 ヶ所霊場 1300km の遍路道巡礼を達成後、地元海陽町の海辺に藍スタジオ「inBetweenBlues」を設立。「inBetweenBlues」を設立。現在は i BB を拠点に、徳島県が世界に誇る伝統文化 ” 阿波藍 ” × サーフ × 空海をテーマとしたモノづくりやワークショップ、イベントプロデュース等を通して、人と自然に優しいライフスタイルや故郷の自然、伝統文化の魅力発信に努めている。

【LexusNewTakumi Project2016】徳島県代表／小山薫堂 注目の匠 受賞

【平成 30 年度 平成藍大市】あったかビジネスプラン 優秀賞 受賞

下村 委津子 (SHIMOMURA Shizuko)

認定 NPO 法人環境市民副代表理事／eco パーソナリティ (フリーアナウンサー)

(一社) 市民エネルギー京都理事／持続可能な開発のための教育推進会議 (ESD-J) 理事

NPO 法人 FEE Japan (国際環境教育基金) 理事／NPO 法人アントレプレナーシップ開発センター理事

1961 年生まれ。京都生まれの京都育ち。

まちづくりや環境に関する番組で専門性あるパーソナリティとして企画・制作に携わり、出演する。

NPO 運営のコミュニティ FM では、環境市民が放送する番組を企画・制作し、同局のまちづくりの番組のパーソナリティもつとめた。

2017 年度から、ノートルダム女学院高等学校グローバル英語コースのグローバルワークショップで、SDGs と自分たちの暮らしのつながりを知り課題解決のための実践を生徒自らで行う PBL プログラムを担当している。

息抜きは世界の海で潜ること。ドリトル先生に憧れ、海の生きものたちと話せる日を夢見ている。小学校の時に出会ったドリトル先生とムーミンの本が、今でも環境や生きもの、多様性、社会のお手本。

開催予定

■トークイベント vol.2

「気候変動 × 京都の伝統産業」

令和 4 年 1 月 16 日 (日) 13:30 - 16:00 〈会場〉京エコロジーセンター (〒612-0031 京都府京都市伏見区深草池ノ内町 1 3)

■トークイベント vol.3

「女性 × 京都の伝統産業」

令和 4 年 2 年 12 日 (土) 13:30 - 15:30 〈会場〉QUESTION (〒604-8006 京都府京都市中京区下丸屋町 390-2)

※申し込み方法など詳細は別途お知らせいたします。



公益財団法人 京都伝統産業交流センター
〒606-8343 京都市左京区岡崎成勝寺町 9-1 京都市勧業館みやこめっせ地下 1 階
<https://fpkti.or.jp/> TEL : 075-762-2690 FAX : 075-761-7121